

No 1

平成29年度 港区事務事業評価シート

評価対象

事務事業名	芝地区地域ふれあい事業	開始年度	平成 18 年度
所 属	芝地区総合支所管理課管理係		
所 管 課 長	芝地区総合支所管理課長		
基 本 政 策	3 地域の課題を自ら解決できるコミュニティをつくる		
政 策 名	(11) 多様なコミュニティをつくる		
施 策 名	① コミュニティ意識の醸成		

事業概要

事業の目的	芝地区で地域のさまざまな方々のふれあいの場と交流の機会を提供するとともに、地域に潜在している人材や組織等の力を発揮できるよう「ふれ愛まつりだ、芝地区」を開催します。
事業の対象	芝地区を中心に活動している団体・事業所、保育園や子ども中高生プラザ、いきいきプラザ等の区関連施設等で活動している団体及び地域住民
事業の概要	参加団体による実行委員会を組織し、出店部門を「地域ふれ愛マーケット」、コンサート部門を「地域ふれ愛コンサート」として実施しています。出店部門では、パネル展示やゲーム、飲食などの模擬店を実施。コンサート部門では、地域の方による合唱、バンド演奏、ダンスなど、日頃の練習の成果を披露し、来場者とともに地域のつながりや連帯感を深めます。
根拠法令	

事業の成果

指 標	指標 1	参加団体数			指標 2	来場者数			指標 3	当初予定	実績	達成率
		当初予定	実績	達成率		当初予定	実績	達成率				
		平成27年度	60	62		103.3%	平成27年度	6,000				
平成28年度	60	60	100.0%	平成28年度	6,000	6,000	100.0%	平成28年度				
平成29年度	60	—	—	平成29年度	6,100	—	—	平成29年度		—	—	

成果の概要
(指標の説明等)

芝地区を中心に活動している団体の日頃の成果を発揮・発表する場として定着しています。また、来場者数も毎年増加傾向にあり、地域の多様な交流の促進が図られています。

事業費の状況(単位：千円)

年度	予算状況									決算状況	
	当初予算額	一般財源	国庫支出金	都支出金	基金	その他	流用	補正予算	予算現額	決算額	執行率
平成27年度	8,676	8,676	0	0	0	0	-977	0	7,699	7,615	99%
平成28年度	9,058	9,058	0	0	0	0	0	0	9,058	7,926	88%
平成29年度	8,550	8,550	0	0	0	0	—	—	—	—	—

予算・決算に関する特記事項

事務事業を取り巻く状況等	
コスト削減の工夫・余地	会場の設営等の経費であり、削減の余地はありません。
区民ニーズや要望（今後の需要見込み）	芝地区では、区民センターがないため区民活動の発表の場となっており、区民の要望は高くなっています。
他団体等の取組状況（類似事業の有無）	
区関与の必要性（実施する必要性）	区民の皆さんと培ってきた「ふれあい」の継承が目的であり、参加団体や地域の皆さんが「ふれあい」とともに「環境」について考えるまつりとなっているため、区の関与は必要です。
前年度の最終評価及び付帯意見	継続
事業の課題	芝地区で活動している団体が、日頃の活動の成果を発揮・発表する場として定着してきています。しかし、事業実施にあたっては、会場が限られているため出展団体を増やすことができません。また、天候に左右されるなどの課題があり、実施場所、実施方法等の検討が必要です。
次年度へ向けた事務の改善点（付帯意見への対応等）	団体に対する雨天時の補償は困難なため、雨天でも開催することとします。また、実施場所については、区民の皆様に着しているため、変更は困難です。

一次評価（所管課による自己評価）		
項目	評価※	評価の理由・コメント
① 必要性	4	芝地区のふれあいの場として、区民のニーズが高くなっています。
② 効果性	4	参加者数は増加しており、区民に浸透しています。
③ 効率性	4	設営のみの経費で、環境の啓発や芝地域のつながりや連帯感が深まります。

※評価は、5:「極めて高い」、4:「高い」、3:「普通」、2:「低い」、1:「極めて低い」を目安に5段階で記入してください。

総合評価	○ 拡充 ● 継続 ○ 改善 ○ 廃止 ○ 統合
------	----------------------------------------------

・拡充は、①必要性、②効果性、③効率性の評価が、すべて「4:高い」以上の評価で、事務事業を拡充（拡大または充実して実施）する必要があるもの。
 ・継続は、①必要性、②効果性、③効率性の評価が、すべて「4:高い」以上の評価で、事務事業を継続（現状の内容で実施）する必要があるもの。
 ・改善は、「拡充」「継続」「統合」「廃止」に該当しないもので、事務事業の手段、手法を見直しサービス内容等を改善すべきもの。
 ・統合は、効果性、効率性の向上が見込まれるため、他の事務事業と整理統合を検討すべきもの。
 ・廃止は、事務事業の廃止を検討すべきもの。

所管課による評価の理由（事業に対する取組方針）	芝地区の連帯感を深め、芝地区の活動の発表の場として定着しており区民の皆様が楽しみにしている事業です。地域の方々と連携し引き続き実施します。
※「拡充」「改善」の場合は拡充・改善する具体的な内容を記載 ※「継続」の場合は継続する具体的な理由を記載 ※「統合」の場合は統合対象事務事業名を記載	

No 2

平成29年度 港区事務事業評価シート

評価対象

事務事業名	芝地区保育園地域開放	開始年度	平成 9 年度
所属	芝地区総合支所管理課管理係		
所管課長	芝地区総合支所管理課長		
基本政策	5 明日の港区を支える子どもたちを育む		
政策名	(22) 就学前児童ケアサービスを総合的に推進する		
施策名	④ 子育て支援サービスの充実		

事業概要

事業の目的	家庭において子育てを行う保護者とその就学前の子どもを対象に、地域の保育園として子育て支援を行い、地域との交流を広げることを目的とします。
事業の対象	家庭において子育てを行う保護者とその就学前の子ども
事業の概要	<p>該当施設 港区立芝保育園、港区立芝公園保育園 月1～2回 1時間半～2時間程度 保育園で「保育園であそぼう」事業を通して下記のことを実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子で集まれる場、安全に遊べる場所の提供 ・参加者同士の親睦・交流の機会を提供 ・保育園の職員による正確な育児情報の提供や個別相談の実施
根拠法令	児童福祉法、港区地域在宅子育て支援制度事業実施要綱

事業の成果

指標	指標1	開催回数(回)			指標2	延参加者数(人)			指標3			
		当初予定	実績	達成率		当初予定	実績	達成率		当初予定	実績	達成率
	平成27年度	36	29	80.6%	平成27年度	230	239	103.9%	平成27年度			
平成28年度	36	27	75.0%	平成28年度	230	176	76.5%	平成28年度				
平成29年度	36	—	—	平成29年度	230	—	—	平成29年度		—	—	

成果の概要
(指標の説明等)

核家族化が進み、在宅で子育てをする保護者は育児に関する不安や孤立感を抱えやすい状況となっています。本事業は、そうした保護者と子どもを対象に、保育園で子どもが安全に遊べるプログラムを月2回程度提供するとともに、保護者に子どもとの遊び方や食育についての知識や経験を得る機会を提供し、保護者の不安感の解消に寄与しています。

事業費の状況(単位：千円)

年度	予算状況									決算状況	
	当初予算額	一般財源	国庫支出金	都支出金	基金	その他	流用	補正予算	予算現額	決算額	執行率
平成27年度	119	119	0	0	0	0	0	0	119	114	96%
平成28年度	119	119	0	0	0	0	0	0	119	116	97%
平成29年度	121	121	0	0	0	0	—	—	—	—	—

予算・決算に関する特記事項

昨年に引き続き、執行率は95%以上となっています。

事務事業を取り巻く状況等	
コスト削減の工夫・余地	最小限の経費で運営しており、利用者負担も求めているため、削減の余地は少ないです。
区民ニーズや要望（今後の需要見込み）	区内の子育て世代の人口増加に加え、核家族化の進展に伴い育児の孤立化が起きやすい状況です。そのため、今後も高い需要が見込まれます。
他団体等の取組状況（類似事業の有無）	在宅で子育てする保護者とその子どもに対する支援事業を拡充する自治体が増えています。
区関与の必要性（実施する必要性）	子育て広場や他の相談場所などの代替手段があります。
前年度の最終評価及び付帯意見	継続
事業の課題	通常の保育園の運営体制で実施している事業のため、園の人員体制の問題や、感染症流行時の衛生管理の問題から、実施回数を増加させることは難しい状況です。保護者が安心して子どもを遊ばせることのできる安全な遊び場の環境づくりと、園庭遊びなど一回あたりのプログラムの内容の充実を図ることが課題です。
次年度へ向けた事務の改善点（付帯意見への対応等）	利用者との育児相談等を通じて、現在の利用者の本事業に対するニーズを把握するとともに、プログラム内容に反映していくことが必要です。

一次評価（所管課による自己評価）		
項目	評価※	評価の理由・コメント
① 必要性	4	子育て世代の育児に関する不安の解消や孤立化を防止し、本事業が地域との交流の場としての役割を担っています。代替となる施設はありますが、保育所の保育士の専門知識を提供することが可能であり、事業継続の必要性があります。
② 効果性	4	定期的に事業を開催することで、子育て世帯の育児に対する支援や相談を行っています。本事業を通じて、近隣地域に暮らす子育て世帯の交流が図られています。
③ 効率性	5	最小限の費用と既存の施設で実施をしています。

※評価は、5:「極めて高い」、4:「高い」、3:「普通」、2:「低い」、1:「極めて低い」を目安に5段階で記入してください。

総合評価	<input type="radio"/> 拡充	<input checked="" type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> 改善	<input type="radio"/> 廃止	<input type="radio"/> 統合
------	--------------------------	-------------------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------

- ・拡充は、①必要性、②効果性、③効率性の評価が、すべて「4:高い」以上の評価で、事務事業を拡充（拡大または充実して実施）する必要があるもの。
- ・継続は、①必要性、②効果性、③効率性の評価が、すべて「4:高い」以上の評価で、事務事業を継続（現状の内容で実施）する必要があるもの。
- ・改善は、「拡充」「継続」「統合」「廃止」に該当しないもので、事務事業の手段、手法を見直しサービス内容等を改善すべきもの。
- ・統合は、効果性、効率性の向上が見込まれるため、他の事務事業と整理統合を検討すべきもの。
- ・廃止は、事務事業の廃止を検討すべきもの。

所管課による評価の理由（事業に対する取組方針） ※「拡充」「改善」の場合は拡充・改善する具体的な内容を記載 ※「継続」の場合は継続する具体的な理由を記載 ※「統合」の場合は統合対象事務事業名を記載	本事業は、子育て世代の育児に関する不安の解消や孤立化を防止し、地域との交流の場としての役割を担っています。また、既存の施設と保育園職員の専門知識を活用するため、最小限の経費で実施できることから継続が妥当です。
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------

No 3

平成29年度 港区事務事業評価シート

評価対象			
事務事業名	芝地区区長と区政を語る会	開始年度	平成 18 年度
所属	芝地区総合支所管理課管理係		
所管課長	芝地区総合支所管理課長		
基本政策	-		
政策名	(29) 参画と協働により互いの顔が見える区政運営を推進する		
施策名	② 区民参画の推進		

事業概要	
事業の目的	区政に関する区民の要望を的確に把握するため、区民各層から意見・提案を聴取し、区の施策への反映を図ることにより、区民参加による区政運営を推進します。
事業の対象	区内在住・在勤・在学者
事業の概要	<p>区長が区民と懇談を行い、区政に関する意見を聴取します。</p> <p>【開催時期】各総合支所で年1回 【開催場所】区役所会議室や管内施設など 【参加者】公募等による区民等 【テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成24年度 「高齢者が健康に暮らせる地域づくり」 平成25年度 「区民とともに作る災害につよいまち・芝地区」 平成26年度 「おもてなしのまち・芝地区」 平成27年度 「芝地区の新しい地域づくり～まちの幸せを呼ぶ人づくり～」 平成28年度 「若い世代と語る港区の将来」
根拠法令	港区集団広聴実施要綱

事業の成果												
指標	指標1	参加者数			指標2				指標3			
		当初予定	実績	達成率		当初予定	実績	達成率		当初予定	実績	達成率
	平成27年度	10	5	50.0%	平成27年度				平成27年度			
	平成28年度	10	8	80.0%	平成28年度				平成28年度			
平成29年度	10	-	-	平成29年度		-	-	平成29年度		-	-	
成果の概要 (指標の説明等)	区長と区民が直接懇談することにより、区民の意見や要望を把握することができました。また、区長から、区の施策等について考え方を示すことができました。											

事業費の状況(単位：千円)											
年度	予算状況									決算状況	
	当初予算額	一般財源	国庫支出金	都支出金	基金	その他	流用	補正予算	予算現額	決算額	執行率
平成27年度	42	42	0	0	0	0	0	0	42	24	57%
平成28年度	23	23	0	0	0	0	0	0	23	23	100%
平成29年度	43	43	0	0	0	0	-	-	-	-	-
予算・決算に関する特記事項	会議録を作成するための反訳に係る経費及びお茶の購入経費										

事務事業を取り巻く状況等	
コスト削減の工夫・余地	参加者飲料、会議録反訳等に係る必要最小限の経費であり、削減の余地はありません。
区民ニーズや要望（今後の需要見込み）	公募による応募者は少ないですが、直接区長と懇談し、意見や要望を伝えたいという潜在的な区民ニーズはあります。
他団体等の取組状況（類似事業の有無）	【港区】 ・区政モニター（区長室） ・町会・自治会連絡会（各地区総合支所で実施、質問・問い合わせ事項への回答など） 【他区】 ・23区、19区が類似事業を実施しています。
区関与の必要性（実施する必要性）	区長が直接区民等から、広く意見・提案を聴取する場として、施策推進に活用しているため必要性は高いです。
前年度の最終評価及び付帯意見	継続
事業の課題	区長が直接区民から意見・要望を聴取できる機会であり、集団広聴の一環として今後も継続していく必要はあります。しかし、区長が出席する会のため、参加する区民からは区全体への意見・要望も多いのが実情です。
次年度へ向けた事務の改善点（付帯意見への対応等）	参加者の募集方法や、周知方法についての工夫が必要です。活発な意見交換を実現するために魅力的で、夢のあるテーマ設定を検討する必要があります。

一次評価（所管課による自己評価）		
項目	評価※	評価の理由・コメント
① 必要性	4	区長が直接区民から意見・要望を聴取できる機会であり、集団広聴の一環として事業の継続は必要です。
② 効果性	4	区民が区長と直接意見・要望を伝える機会であり、区民にとっては有意義な会です。
③ 効率性	4	経費は妥当ですが、実施方法について検討する必要があります。
※評価は、5:「極めて高い」、4:「高い」、3:「普通」、2:「低い」、1:「極めて低い」を目安に5段階で記入してください。		
総合評価	○ 拡充 ● 継続 ○ 改善 ○ 廃止 ○ 統合	
・拡充は、①必要性、②効果性、③効率性の評価が、すべて「4:高い」以上の評価で、事務事業を拡充（拡大または充実して実施）する必要があるもの。 ・継続は、①必要性、②効果性、③効率性の評価が、すべて「4:高い」以上の評価で、事務事業を継続（現状の内容で実施）する必要があるもの。 ・改善は、「拡充」「継続」「統合」「廃止」に該当しないもので、事務事業の手段、手法を見直しサービス内容等を改善すべきもの。 ・統合は、効果性、効率性の向上が見込まれるため、他の事務事業と整理統合を検討すべきもの。 ・廃止は、事務事業の廃止を検討すべきもの。		
所管課による評価の理由（事業に対する取組方針）	区長が直接区民から意見・要望を聴取できる機会であり、集団広聴の一環として今後も継続していく必要はあり、継続すべき事業であると評価します。しかし、区長との語る会のため、参加する区民からは区全体への意見・要望となり、支所単位でテーマを設定することに課題があります。	
※「拡充」「改善」の場合は拡充・改善する具体的な内容を記載 ※「継続」の場合は継続する具体的な理由を記載 ※「統合」の場合は統合対象事務事業名を記載		